

番号	意 見	考え方・対応状況（案）
1	（意見） 「強靱安心」の4字熟語がなじまないので、「強靱・安心」か「強靱化」に変更してはどうか。 （理由） そもそも「強靱安心」という4字熟語が熟語として意味が成り立っているのか不明である。「強靱化」は、11行目に「致命的な被害を負わない強さと速やかに回復するしなやかさ」と説明している。また国土強靱化の定義も、大規模自然災害等に備えるため、事前の防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策を実施することであるが、「安心」の部分が何を指しているのか、「安心」の定義がよく分からない。「安心」を残すのなら「強靱・安心」がいいのではないかと考える。	災害リスクの低い地域へ居住を誘導するハード対策や防災教育・避難訓練などのソフト対策を効果的に組み合わせた防災・減災対策の実施により、安全・安心の確保につなげていきます。 「強靱安心」については、「強靱・安心」に変更します。
2	（意見） 「市街化区域内農地については、良好な都市環境の形成及び災害時の防災空間の確保の観点からも、計画的な保全と利用を図る。」とあるが、これは生産緑地地区の指定を指すのか、あるいは都市農業振興基本法に基づく地方計画を指すのか。 （理由） 市街化区域内農地の農業経営者から、農地にかかる税の軽減措置を求められているため、どの程度実現性のあるものが把握したい。	市街化区域内農地については、良好な都市環境の形成や防災の観点から、将来にわたり維持の必要のある農地については、生産緑地制度や都市農業振興基本法に基づく地方計画の活用などによる保全を視野に入れながら、計画的な利用を図ることとしています。